

# あべともこニュース

## 今こそ、軍事によらない外交力を。

### ◆ 痩せ細る社会保障、社会保険

軍事費の増額や政府による社会全体の統制に熱心な高市政権は、その一方で、社会の安定や安心の根幹である社会保障を削減する方向です。

曰く、高齢者の医療や介護の為、高い社会保険料を払う若者を圧迫しているから、高齢者はもっと負担すべきとか。七十五歳以上の医療の窓口自己負担も三割、家事介護は介護保険ではなくて私費で支払う、また過疎地などでは介護報酬の支払いを変えるとか。

若者の手取りも増えず大変ですが、高齢者の生活も物価高と医療や介護の負担で押し潰されてしまっています。勿論親の医療や介護の負担が若い世代に行くこともあるでしょう。でも、こうした世代間の分断をおおるやり方は、これまで積み上げてきた「共助」のしくみを壊すもの。更に貧富の格差がこれだけ拡大したいま、税（公助）と社会福祉（共助）の抜本的な改革こそが不可欠。

尊厳ある生存のための医療や介護を皆で守る覚悟が必要です。



前衆議院議員あべともこプロフィール

当選9回、東京大学医学部卒業、小児科医、あべともこ子どもクリニック（湘南台）理事長

### ◆ 許されない米国のキューバ攻撃計画

国際法を無視したイラン戦争が、トランプ大統領の預言した勝利とはならず、ホルムズ海峡の通過を巡って膠着状態で、世界中が石油危機に晒されています。その失策の挽回のために？今度はキューバ攻撃を公言するトランプ大統領は、二十日米海軍の空母打撃群をキューバ近隣に配備し、攻撃準備状態にあります。

攻撃に先立ってキューバのラウルカスト口前元首を起訴し、ベネズエラの大統領を拘束、拉致したと同じような拳に出るのかもしれないません。

長年強い経済制裁に加え、この間エネルギーの供給網も遮断して、キューバを苦しめている米国です。

主権国家への脅し、果ては軍事攻撃を絶対に許してはなりません。

こうしたアメリカの度重なる国際法違反の攻撃に対して、先日地元藤沢ではキューバを励ます為のチャリティコンサートを開催、皆さんから頂いたご寄付六十八万円を後援会の皆さんとお届けし、ガルスシア大使からは市民からの支援は何よりも嬉しく医薬品を買って早速送るとの事でした。



### ◆ 出光丸、ホルムズ海峡通過し名古屋に

イラン戦争により原油輸送の要衝であるホルムズ海峡が通過ができなくなり、石油や石油化学関連製品の不足が塗装業や建設業に大きな打撃を与えています。更に原料のナフサ不足は製造業、農業、商業にも及び、値上げや販売中止は勿論のこと、倒産や廃業も始まっています。国民生活も値上げラッシュに悲鳴です。

そもそも政府は不足を認めず、対策もせず、ここにきてやっと重い腰をあげて補正予算を組み、燃料代や電気代の補助と共に、ナフサの製造などを支援すると言いますが、正直商売も消費者も待ってられません。五月十一日にカルビーが包装紙を白黒にすると発表して政府は慌ててヒアリングする始末。

二十五日にはイラン戦争後初めて、日本の出光丸がホルムズ海峡を通過し名古屋に帰港、日本とイランの外交の歴史と信頼に基づくイラン側の判断と言われています。日本は国民生活を守るためにも、対米追従ではなくしっかりとした平和外交を推し進め、国民生活を守るべきです。

署名はこちらから



生活と平和を守るために——イランとの友好的外交による船舶通過の実現を求めます